SMTライン向け基板クリーナー 主力モデル

UNITECH ユニテク株式会社

UC-250M-CV

ハイブリッドダブルクリーニング方式

目に見える異物から微細粉塵まで、1台で効率的に除去し、SMTラインの品質安定化に貢献するハイブリッド型基板クリーナーです。

クリーニングの仕組み

ハイブリットダブルクリーニング方式は、「ブラシ＋吸引」と「ゴムロール＋粘着転写」を組み合わせた独自の二段階清掃構造です。異物サイズや付着状態に応じて最適なクリーニングを行うことで、微細異物まで効率的に除去し、印刷品質安定化・実装不良低減に貢献します。

①	防塵回転ブラシ × バキューム吸引	逆回転ブラシで基板表面の異物を掻き上げ、バキュームで即座に吸引・回収します。
②	ゴムロール ＋ 粘着テープ転写	ブラシで除去しきれなかった微細異物をゴムロールが回収し、粘着テープへ転写固定します。

主な特徴

■ **異物サイズに応じた段階的除去**
比較的大きい異物から微細異物まで、それぞれに適した方式で段階的に回収。
SMTラインの印刷品質安定化・実装不良低減に貢献します。

■ **取り逃しを防ぐ二段階構造**
一段階目で除去しきれなかった異物を二段階目で再回収。
微細異物の取り逃しを低減し、高いクリーニング信頼性を実現します。

■ **柔軟素材による基板への低負荷**
回転ブラシとゴムロールはしなやかな柔軟素材を採用。
基板表面へのダメージを抑制します。
（材質詳細はお問い合わせください）

■ **回収した異物の再付着を防止**
回収した異物は粘着テープへ固定されるため、異物の再拡散を防止します。

■ **入口・出口イオナイザ標準装備**
装置前後で帯電を除去することで高信頼性実装に対応し、ライン全体の品質リスク低減に貢献します。



タッチパネルで選べる4つの操作モード

タッチパネルの簡単操作により、基板の種類や用途に合わせて4モードの選択が可能です。

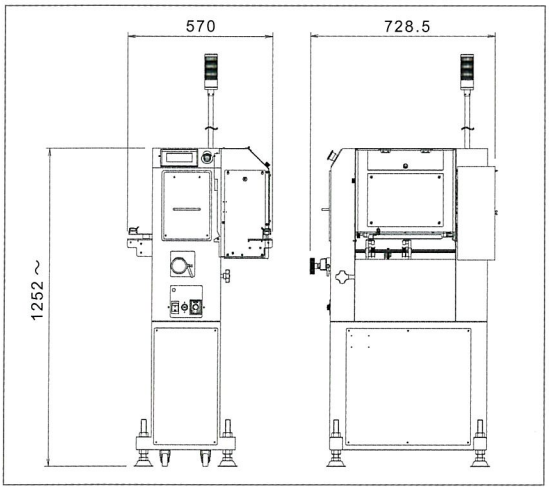
モード	ブラシ×バキューム	ゴムロール×粘着テープ	説明
①	**ON**	**ON**	ダブルクリーニング ON　両機構をフル稼働
②	**ON**	OFF	ブラシのみ使用　大きな異物を重点除去
③	OFF	**ON**	ゴムロールのみ使用　微細異物を重点除去
④	OFF	OFF	パスモード　クリーニングなしで基板を通過

装置基本仕様：モデル No.UC-250M-CV

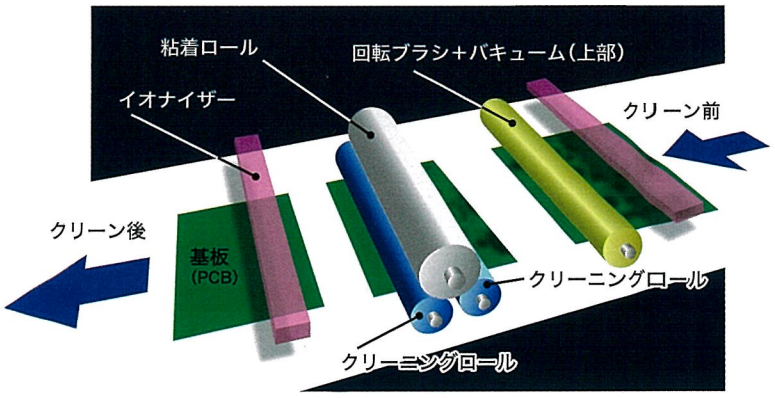
クリーニング面	基板上面
クリーニング方法	回転ブラシ＋吸引及びクリーニングロールによるハイブリットクリーニング
ブラシ部構成	回転ブラシ１本及び吸引　※上部
ローラー部構成	クリーニングロール（ゴムロール）上部２本 粘着テープ上部１本
対象基板	幅：50.0 ～ 250.0 ㎜ 長：100.0 ～ 330 ㎜ 厚：0.5 ～ 2.0 ㎜　※左記以外の基板厚につきましては別途ご相談
基板搬送面高さ	900±25 ㎜
基板搬送方向	左←右　又は　左→右　ご発注時確定願います
コンベア固定側	手前　又は　奥　ご発注時確定願います
コンベア幅調整方法	手動（装置前面ハンドル）インジケーター付
基板搬送速度	0 ～ 7.5m/min 可変　装置正面スピコン又はタッチパネルにて速度変更可
イオナイザー	入口上部及び出口上部　エアブロー併用、風量調整可能
基板反り防止	装置内部　下面２箇所（特殊ブラシ）位置調整可能（手動）
枚数カウンター	0 ～ 999999　カウントアップ機能付
ブザー	エラー発生時等 ON
シグナル灯	赤１灯
電源電圧	単相 AC100V　50/60Hz　300VA
使用空圧	吸引部：Φ10 装置本体部：Φ6

■オプション・カスタマイズ：

コンベア幅自動調整機構、装置指定色対応、シグナルタワー（3 色表示・点灯条件設定）、外部通信機能（ライン管理システム等との連携）用途に応じて、基板上下両面クリーニングモデル、大型基板対応モデル、デュアルコンベア対応モデルなどもラインアップしております。
各装置の詳細資料およびデモ機をご用意しております。
また、お客様の仕様・用途に合わせた各種カスタマイズにも柔軟に対応いたします。
詳細につきましては、弊社営業担当までお問い合わせください。



搬送イメージ



安全に関するご注意！　ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

このカタログに記載してある仕様内容につきましては、改良の為予告なく変更することがございます。あらかじめご了承願います。

UNITECH
ユニテク株式会社
〒359-1152 埼玉県所沢市北野1-25-10
04-2949-9151　FAX:04-2949-9191
sales@unitechkk.co.jp　http://www.unitechkk.co.jp

2026年8月